

【様式1】

団体名 八重瀬町立 新城小学校	連絡先 TEL：098-998-2203 Eメール： aeh-vp@yaese-edu.jp
--------------------	---

1 実践事項（①）

タイトル：「地域を学び、共に、支え・高め合う関わりを通して」

2 実践内容

学校と地域コーディネーターとが連携できる場を計画的に設けることを通し、地域人材や地域素材に触れる機会を増やす。その実践により、地域のよさを再発見したり、学校だけでは、感じることでできない様々な学びや気づきを体験し、自分や自分たちにできることを考え行動に移し、発信したり継承したりできるようにする。

(1) 農業体験（3年）

ピーマン農家の方を招き、苗の植え方や育て方を学ぶ。

(2) 芸能体験（3・5年）

地域で受けつがれている伝統芸能「観る・触れる・知る」活動を行い、地域に生きる、地域で育つ子供の育成を目指す。

(3) 福祉体験（4年）

体が不自由な方を招き、その方たちの生活行動を追体験することで、障害の有無にかかわらず、一人一人が、安心・安全に自分の住んでいる地域で過ごせるまちづくりを目指す。

(4) 裁縫体験（6年）

裁縫専門の方を招き、シャツ型ポケットティッシュ入れを作成。紅型やかりゆしウェアの生地に親しみを持ちつつ、裁縫の技術力を向上させる。

(5) 職業体験（4・5年）

達人にインタビュー（様々な職種の方を招く）を行い、今後の目標達成や将来の夢に向けた活動を実施。13の職種の方を招き、4～6年生を対象に、職業観や働くことの楽しさやその職に就くために今できることを学ぶ。

3 説明資料



↑アイマスク体験



↑ 達人にインタビュー



↑ 伝統芸能に触れる

4 成果

- ・地域内外の多くの方々と関わることにより、職員が指導できない部分（技術的・専門的な事項・関わり方）等に触れることができ、多様なものの見方・考え方が高まっている。
- ・多くの方に、本校児童のよさを認めてもらうだけでなく、その都度、聞く姿勢や質問内容等を褒めていただけたことで、児童の意欲向上につながっている。

5 課題

- ・計画・準備等の時間の確保や年間計画を見直し、計画的に行う必要がある。